

住

愛知県電気工事業工業組合

明るく快適な暮らしを考え、 実現させる電気工事

さまざまな規制に対応しながらおこなう工事

毎日の暮らしに欠かせないのが電気です。かつては明かりを得ることが大きな目的でしたが、その後はさまざまな電化製品がつくられていきました。いまでは家事はもちろん、情報を得るためや、防犯・防災といったセキュリティーなど、すべてにおいて電気無しでは生活が前に進みません。

誰もが使う電気ですが、配線工事は誰にでもできるわけではありません。電気は目に見えないものだけに、注意深く扱わなければなりません。電気工事士法、電気用品取締法、家庭電気用品表示法、火災予防条例など電気工事には多くの規制があり、こうした法律や電気そのモノの知識がなければ電気工事に携わることはできません。ところが電気工事に携わる事業者の多くは中小企業で占められていました。安全で安心の電気工事がおこなえるよう、昭和39年に愛知県電気工事業工業組合を設立し、工事業者の経済活動を促し、経済的地位の向上を図り、事業者の主体性を確立することになったのです。

電気のことなら



組合設立後、政府管掌労働保険事務組合の認可を受けると共に、技能の向上、資格取得などを目的に愛知県電機工



事士職業訓練所（現愛知県電気技術専門学院）を設立します。さらに電気工事の業務の適正化を目指して電気工事業法の制定などにも取り組みました。

かつて住まいの配線といえば、照明器具を取り付けるためや家電製品が使用しやすい場所を考えてコンセントを取り付けることが主な仕事でした。しかし、現在ではインターネットが当たり前になり、LANによるネットワークの構築が普通になってきました。無駄のない電気の使い方や環境にやさしい電気設備の設置など住宅設備についてのさまざまな相談にも応えています。もちろん快適な住まいのためのあかりの選び方や上手な使い方だけではなく、ビルや工場、店舗、公園、駐車場などの電気設備など、幅広い電気に関する知識と技術、経験が求められています。こうしたことにも細やかに応えられる組合であることを目指しています。

DATA ■愛知県電気工事業工業組合

所在地：東区東桜一丁目2-14

- ・昭和39年：愛知県電気工事業工業組合を設立
- ・昭和41年：愛知県電気工事士職業訓練所（事業内職業訓練校）を開校
- ・昭和58年：愛知電気会館を竣工
- ・平成5年：愛知県電気技術専門学院を開校